

## 2018年度（6月～2019年5月）事業計画

### 1. 法人運営について

今期は、2018年2月に立ち上げたウイズタイムハウスの本格的スタートの年度となる。

ウイズタイムハウス大泉学園の入居者募集については、住宅セーフティネット制度への登録や不動産屋との連携など、ウイズタイムハウスの支援を要する人へ情報が届く工夫を行なう。

現在まで、入居に関する問い合わせを受ける中では、世帯構成員数等でのミスマッチが生じていることがあることから、ウイズタイムハウスへの入居支援のみならず、他の選択肢の紹介ができるよう他団体との連携体制を確立する必要がある。

イベントは、近所の子どもや高齢者、障害者の参加も考慮に入れ、過度な参加費負担を求めず、一方法人の過度な負担も避けられるよう、助成金やカンパなど、財政的基盤の安定化を目指す。

入居者支援の安定後、地域住民への支援も広げていくことができるよう、準備を進める。そのため、今年度は、ウイズタイムハウス大泉学園の庭づくりワークショップや毎月のバザーなどのイベントを通じ、さらに近隣住民の参加を促進する。

また、ウイズタイムハウス開設1周年に向けたイベントの開催を検討する。

ウイズタイムハウスへの共感を広げてともに活動できる仲間が増えるよう、会員・カンパの呼びかけを充実させる。手法についてもクレジット決済等の実施や、SNSや動画を通じた広報の充実を図る。

2017年度は理事を中心に法人の活動の企画・運営を行なったが、人手不足であるため、ウイズタイムハウス運営委員会を立ち上げて活動の企画の段階から関わっていただける多世代の人材を募集するなど、運営の安定化に努める。

また、2017年度はすべての関係者が完全無報酬での関わりであったため、会費・カンパの他、助成金やクラウドファンディングの活用などバランスの取れたファンドレイズにより2018年度中に活動の財政安定化を進め、2019年度には現場スタッフに対する交通費等の支払いができるようになることを目指す。

### 2. 共同住宅の賃貸管理・生活支援・相談事業について

今年度は入居世帯数4世帯以上で運営することを目指す。

高齢、障害、生活困窮状態にあり、都内での住まいの確保に悩む層は確実にいると考えられるが、対象者にウイズタイムハウスの情報が届いていないことが考えられる。そのため、不動産会社との

連携、住宅セーフティネット制度の活用を進める。

入居者への支援については、日常生活の支援（夕食の補助、見守り、相談）を行なうとともに入居者とともに防災・防火訓練を定期実施する。

### 3. 地域住民に対する生活支援・相談事業

ウイズタイムハウス入居者に準ずる生活サポートの可能性について検討を進める。

また、ウイズタイムハウスではニーズが合わない相談への対応ができるよう、他団体との連携を進める。

### 4. 飲食店営業

区内イベントにおいてキッチンカー出店し、ウイズタイムハウスの周知を図る。

### 5. 菓子製造業

キッチンカーにおいてスノーパウダーアイス販売の他、オリジナルの菓子等の販売を検討する。

### 6. 食品等販売業

イベントにおける梅干しや東日本大震災被災地域の名産等の委託販売を実施する。

### 7. コンサート・上映会・講演会など啓発イベントの企画・運営

「ウイズタイムハウスに泊ってみよう」というイベントを企画する。

ウイズタイムハウス大泉学園の庭づくりワークショップイベントを、一般社団法人アライブとの協力のもと進める。

ウイズタイムハウス設立1周年に向け、活動趣旨に沿った映画の上映会などイベントを企画する。

### 8. 若年層の支援のためのイベント・相談事業

毎月第一日曜日の午後、バザーを中心とした季節ごとのイベントを実施し、近隣住民に呼びかける。

カフェの協力を得て、若い人が参加しやすい場で食の安全について考える勉強会を実施する。その他、活動趣旨に沿ったイベントの企画をする。